

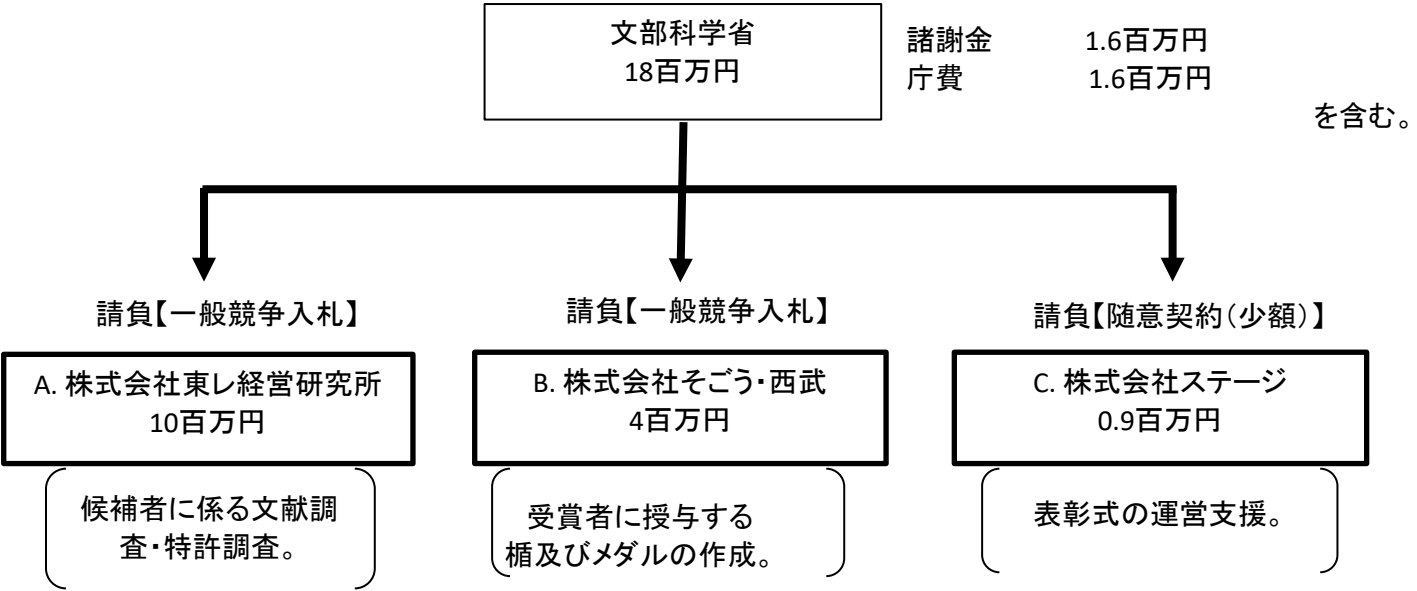
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	科学技術分野の文部科学大臣表彰			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	昭和34年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	振興企画課		奨励室長 水野 浩太
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	我が国の研究力は、論文数などに関し、諸外国と比較して、相対的・長期的に、地位が低下してきている。また、若手研究者の不安定な雇用や研究者の研究時間の減少など、若手をはじめとした研究者のおかれている環境の改善は大きな課題となっている(第6期科学技術・イノベーション基本計画)。そこで、我が国の研究力強化のため、研究者の意欲の向上及び研究環境の改善を図る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。 ・科学技術特別賞 ・科学技術賞(開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門) ・若手科学者賞 ・創意工夫功労者賞 ・研究支援賞						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1417596_00004.htm						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	24	25	25.3	24.7	24.7
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	24	25	25.3	24.7	24.7	
	執行額(G)		19	20	18		
	執行率(%) =(G)/(F)		79%	80%	71%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		79%	80%	71%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術分野の文部科学大臣表彰			-		
	(目)	庁費	14	14			
	(目)	褒賞品費	6	6			
	(目)	諸謝金	4	4			
	(目)	職員旅費	0.4	0.4			
	(目)	委員等旅費	0.3	0.3			
		その他					
	計(A)		24.7	24.7			

活動内容① (アクティビティ)		次代を担う若手研究者の自立を促し、独創性の高い科学技術の発信に貢献するため、萌芽的な研究あるいは、独創的視点に立った研究等高い研究開発能力を示した若手研究者を表彰する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		萌芽的な研究あるいは、独創的視点に立った研究等高い研究開発能力を示した若手研究者を継続して一定数表彰する。	若手科学者賞の受賞者数	活動実績	人	97	98	101	－	－
				当初見込み	人	100	100	100	100	100
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	推薦者数が増加することで、本賞の受賞価値のさらなる向上が図られるとともに、より高い研究開発能力を示す優秀な若手研究者が表彰され、表彰した若手研究者の今後のキャリアアップにつながると期待されることから、推薦件数を増加させる必要がある。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		前年度同数以上とする。	若手科学者賞の推薦人数	成果実績	人	377	371	359	－	
				目標値	人	353	377	371	359	
				達成度	%	106.8	98.4	96.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞推薦者数								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	科学技術賞は、我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その成果に対する功績が顕著な者を表彰するものである。 ①-3で設定した指標は、過去に若手科学者賞を受賞した者が、その後自身の研究内容を発展させ、順調にキャリアアップしたことを示すとともに、我が国の科学技術水準の向上に寄与したことを示す指標となっている。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		前年同数以上とする。	科学技術賞受賞者のうち過去に若手科学者賞を受賞した者	成果実績	人	13	10	14	－	
				目標値	人	6	13	10	－	
				達成度	%	216.7	76.9	140	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		科学技術分野における文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞受賞者数								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その成果に対する功績が顕著な者を表彰する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その功績が顕著な者を継続して一定数表彰する。	科学技術賞の受賞件数	活動実績	件	93	95	91	－	－	
				当初見込み	件	140	140	140	130	130	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	推薦件数が増加することで、本賞の受賞価値のさらなる向上が図られるとともに、より顕著な成果を上げた研究者や技術者等が表彰され、今後の研究開発等に対する意欲向上につながると期待されることから、推薦件数を増加させる必要がある。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		前年度同数以上とする。	科学技術賞の推薦件数	成果実績	件	290	278	300	－		
				目標値	件	245	290	278	300		
				達成度	%	118.4	95.9	107.9	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		科学技術分野における文部科学大臣表彰科学技術賞推薦者数									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	科学技術分野の褒章は、その者が行った発明、研究又は開発が、極めて優れた利活用実績(生産数量、売上数量、市場占有率等)を有し、科学技術の進歩又は国民生活の向上に大いに貢献した者に対して授与されるものである。 ②-3で設定した指標は、過去に科学技術賞を受賞した者が、その後も継続的に自身の研究開発を発展させたことを示すとともに、科学技術賞を受賞した研究開発やそれを発展させた成果が実際に利活用され、国民生活の向上に貢献したことを示す指標となっている。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		前年度同数以上とする。	科学技術分野における褒章 の受章人数	成果実績	人	6	6	7	－		
				目標値	人	7	6	6	－		
				達成度	%	85.7	100	116.7	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		科学技術分野における褒章受章者数									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	—																												
	URL	—																												
	該当箇所	—																												
事業所管部局による点検・改善																														
点検結果	アクティビティ①について、短期アウトカム・長期アウトカムともに、達成度が70%以上であり、順調であるといえる。 アクティビティ②について、短期アウトカム・長期アウトカムともに、達成度が80%以上であり、順調であるといえる。 また、本事業は、我が国の科学技術水準の向上に寄与するものであり、昭和34年度以降長期にわたり実施している事業であるため、引き続き国において継続して実施すべきものである。																		目標年度における効果測定に関する評価（令和〇年度実施）											
	—																		—											
改善の方向性	アクティビティに関しては、達成度を維持できるよう引き続き取り組む。																													
外部有識者の所見																														
研究者をエンカレッジするために必要な事業であり、特別賞を受賞した山中教授が4年後のノーベル賞を受賞する等、適正に評価されていると考える。特に若手の研究者の啓発に有効に使用されており、引き続き適切に事業を進められたい。（前田委員）																														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																														
事業内容の一部改善	この事業は昭和34年度以降長期に継続している事業であり、我が国の科学技術水準の向上に寄与するために引き続き適切に実施すべきである。執行状況については、一者応札の状況等が改善されている。より一層の公告期間の確保や仕様の見直しなど競争性・透明性の確保に努めるべきである。																													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																														
執行等改善	本事業については、さらに多くの者が入札に参加できるよう、仕様書等の見直しに努める。																													
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																													
	—																													
	上記への対応状況																													
	—																													
	その他の指摘事項																													
	—																													
	上記への対応状況																													
	—																													
備考																														
—																														
関連する過去のレビューシートの事業番号																														
平成23年度	220																													
平成24年度	238																													
平成25年度	184																													
平成26年度	182																													
平成27年度	172																													
平成28年度	200																													
平成29年度	208																													
平成30年度	207																													
令和元年度	文部科学省	—				0198																								
令和2年度	文部科学省					0200																								
令和3年度	2021	文科		20		0215																								
令和4年度	2022	文科		21		0214																								

※四捨五入の関係で、合計が合わないことがある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

